

令和 7 年度第 10 回気仙沼市防災フォーラム 兼 東北大学災害科学国際研究所 第 38 回防災文化講演会を開催しました（2026/1/21）

テーマ：市民みんなで考える防災，気仙沼市
会 場：気仙沼中央公民館（宮城県気仙沼市）

2026 年 1 月 21 日（水），気仙沼中央公民館において，「令和 7 年度 第 10 回 気仙沼市防災フォーラム」が開催されました。本フォーラムは，気仙沼市および同教育委員会の主催，当研究所ならびに気仙沼 ESD/RCE 推進委員会の共催，気仙沼市立小・中学校安全担当主幹教諭の皆様の企画・運営により，毎年実施しているものです。「市民みんなで考える防災」をテーマに，学校・地域住民・企業の交流を通じて，今後の防災計画および防災教育について学ぶ場となりました。

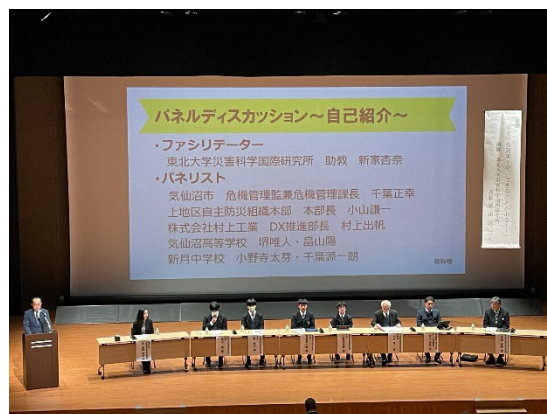
はじめに基調講演が行われ，当研究所の栗山進一所長・教授（災害公衆衛生学分野）が，演題「命を守る防災 ～今，できることがある！～」のもと，日常の中で実践できる備えの重要性について講演しました。続く中高生・企業によるポスターセッションでは，来場者との対話を通じて，防災に関する学びと取組が共有されました。

また，パネルディスカッションでは，「日常生活でできる防災・減災への備え」をテーマに意見交換を行いました。当研究所の新家杏奈助教（イオン防災環境都市創生共同研究部門）がファシリテーターを務め，学生，地域住民，企業，行政の方々をパネラーに迎え，各自の活動紹介に加え，今後の防災活動に向けた中高生からの積極的な意見も多く示されました。

当日は市内の中高生をはじめ，学校関係者，自主防災組織等の地域住民が参加し，盛会のうちに終了しました。



基調講演
栗山進一所長・教授



パネルディスカッション

文責：新家杏奈（イオン防災環境都市創生共同研究部門）